

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和7年5月解析分)

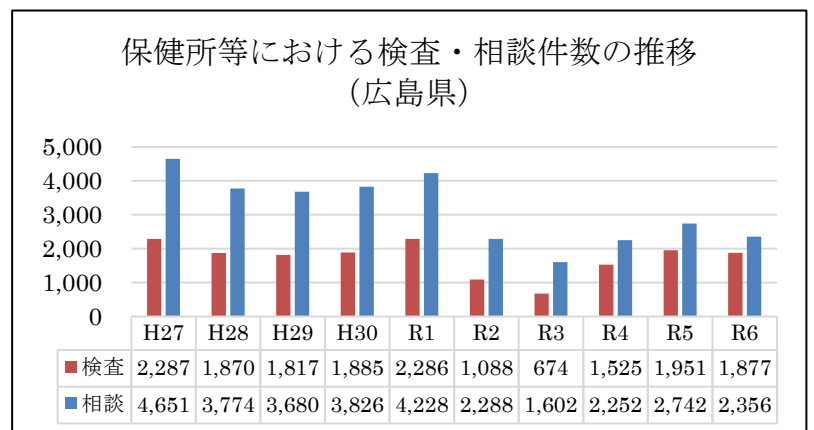
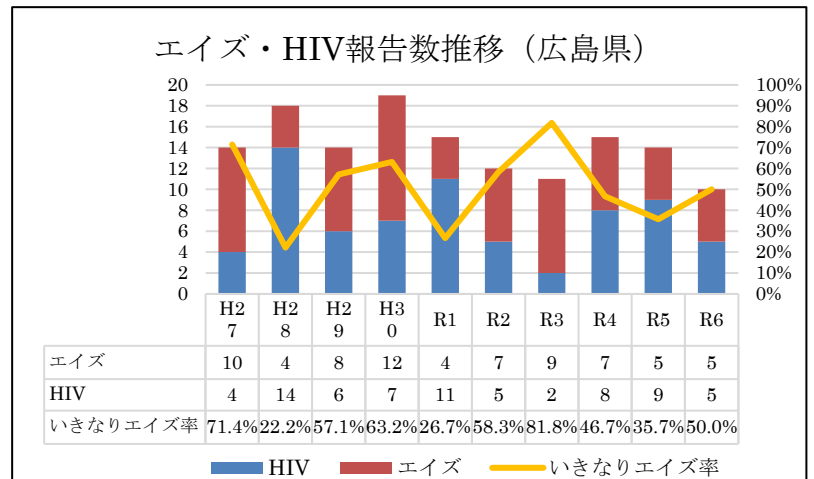
1 今月のトピックス

6月1日(土)から6月7日(金)は「HIV検査普及週間」です!!

県内の令和6年の新規エイズ患者数は5人(前年比±0)、新規HIV感染者数は5人(前年比-4)という状況でした。依然として、いきなりエイズ率が高い状況が続いており、HIVやエイズに関する正しい知識と適切な検査の実施が重要です。また、検査件数については新型コロナウイルス感染症の流行前の水準に回復しています。

HIVに感染しても自覚症状のない時期が数年間続くことが知られています。その間に感染を発見し治療することで、エイズ発症を予防したり、遅らせたりすることが可能です。

保健所検査や日曜検査、クリニック検査など、利便性の高い場所や時間帯に配慮した検査体制を構築しており、広島県のホームページから日程等を確認できます。検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検してください。(※保健所検査については、梅毒検査も併せて実施しています。)



予防のポイント

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、感染力が弱く性行為以外では日常生活の中で感染する心配はありません。

正しい知識を持って、しっかりと対策をしましょう!

- 性行為(精液・膣分泌液): 感染者との無防備な性行為は感染の可能性が高い
 - 性交・オーラルセックス(口腔性交)の際は、必ずコンドームを使う
 - 性器具の共用をしない
- 血液を介して: 血液にふれることや、血液が体内に入ると感染の可能性が高まる
 - 注射器具の共用をしない
- 母親から赤ちゃんへ(母子感染): 妊娠中・出産時・授乳などによって子どもに感染することがある
 - 予防措置〔服薬、帝王切開、人工栄養(粉ミルク)での養育〕を行う



広島県 HIV・エイズ

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年 4月分(令和7年4月7日～令和7年5月4日:4週間分)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	17,670	47.25	-		11	突発性発しん	54	0.23	0.27	
2	インフルエンザ ※3	338	0.90	1.20		12	ヘルパンギーナ	4	0.02	0.08	
3	新型コロナウイルス感染症 (covid-19) ※1	527	1.40	-		13	流行性耳下腺炎	9	0.04	0.04	
4	RSウイルス感染症	160	0.69	0.73		14	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
5	咽頭結膜熱	93	0.40	0.35		15	流行性角結膜炎	81	1.07	0.44	
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	576	2.48	0.97		16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	2,300	9.91	4.28		17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
8	水痘	18	0.08	0.08		18	マイコプラズマ肺炎	36	0.45	0.03	
9	手足口病	23	0.10	0.18		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	87	0.38	0.04		20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	51	0.64	0.01	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 7年 4月分(4月 1日～4月 30日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 号	記
21	性器クラミジア感染症	55	2.50	3.31		25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	4.35	3.07		
22	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.77	0.92		26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.13		
23	尖圭コンジローマ	15	0.68	0.88		27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00		
24	淋菌感染症	22	1.00	1.17		※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。						

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 手足口病 { 0.05 → 0.10 }
○急減疾患 伝染性紅斑 { 0.21 → 0.38 }
なし

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増 減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患, 月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	36	58	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾 患 名 (管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	22	結核(22)〔西部保健所(2), 西部東保健所(2), 東部保健所(5), 広島市保健所(8), 福山市保健所(5)〕
三 類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕
四 類	6	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 つつが虫病(1)〔西部保健所(1)〕 レジオネラ症(3)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(1)〕
五 類	233	ウイルス型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔福山市保健所(1)〕 急性脳炎(2)〔北部保健所(1), 広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(7)〔北部保健所(1), 広島市保健所(6)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(20)〔西部東保健所(1), 東部保健所(3), 広島市保健所(11), 呉市保健所(2), 福山市保健所(3)〕 百日咳(198)〔西部保健所(21), 西部東保健所(28), 東部保健所(15), 北部保健所(8), 広島市保健所(100), 呉市保健所(14), 福山市保健所(12)〕